

評価の視点

評価項目		評価の着眼点	評価				
			A	B	C	D	E
提案の要旨	(1) 要旨	提案内容の要旨が、体系的に整理され、簡潔かつ明確に示されているか。	提案内容が整理され、実施内容の全体像が専門の知識を持たなくとも把握できる。(100点)	内容が簡潔さに欠ける、又は表現が難解であるが実施内容の全体図を把握できる。(75点)	要旨に欠けている視点や内容があり、業務の全体像が理解しにくい。(50点)	各要素やポイントは把握できるが、実施内容の全体把握が難しい。(25点)	要旨の整理がされておらず、実施内容が把握できない。(0点)
提案者について	(1) ワーク・ライフ・バランスに関する取組	提案書評価基準表1の「提案書記載内容」2(1)に記載した項目を満たしているか	4つとも取得している。(40点)	いずれか3つ取得している。(30点)	いずれか2つ取得している。(20点)	いずれか1つ取得している。(10点)	取得していない(0点)
	(2) 障害者雇用に関する取組	提案書評価基準表1の「提案書記載内容」2(2)に記載した項目を満たしているか	達成している。(40点)				達成していない。(0点)
	(3) 健康経営に関する取組	提案書評価基準表1の「提案書記載内容」2(3)に記載した項目を満たしているか	2つとも達成している。(40点)		いずれか1つ達成している。(20点)		達成していない。(0点)
全体に関する理解・対応	(1) 本業務の背景及び目的に対する理解	本業務の背景、目的及び効果について正しく理解していることが、提案者の考えとともに明確に示されているか。	本件業務の背景と目的を理解した上で目的を達成するための具体的な手段・手法を提案しており、その内容と効果も実現可能と認識できる内容である。(200点)	本件業務の背景と目的を理解した上で目的を達成するための手段・手法を提案しているが、実現の可能性や難易度、効果の発揮に疑問が残る箇所がある。(150点)	本件業務の背景や目的の理解において不足した視点があり、実現可能性または目的達成に向けた取り組みに関する内容が提案書上で不足している。(100点)	本件業務の背景と目的の理解が不足しており、目的達成の実現可能性が低い。(50点)	本件業務の背景と目的が正しく理解されておらず、提案内容による目的達成が難しい。(0点)
計画・体制・管理	(1) 計画	開発規模や、試験・修正期間を考慮した場合に、実現性が見込めるスケジュール及び作業工程が示されているか。関連する3システムとの仕様の整合性を確保するための効果的な工夫が示されているか。	業務開始からシステム稼働までのスケジュールが作業工程ごとに整理して記載されており、内容も網羅されている。また、関連する3システムとの仕様調整についても考慮されており、実現可能なスケジュールとなっている。(100点)	業務開始からシステム稼働までのスケジュールが作業工程ごとに整理して記載されているが、内容の一部に不足がある。また、関連する3システムとの仕様調整についてもある程度考慮されており、実現可能なスケジュールとなっている。(75点)	業務開始からシステム稼働までのスケジュールがある程度整理されているが、内容の一部に不足がある。また、関連する3システムとの仕様調整について考慮不足がある。(50点)	スケジュールの整理がされておらず、全体のスケジュールの把握が難しい。内容不足や関連する3システムとの仕様調整について考慮不足があり実現の難易度が高い。(25点)	スケジュール及び作業工程に無理があると考えられ、システム開発の実現可能性が低い。(0点)
	(2) 体制図	各作業工程に十分な従事者が割り当てられているか。開発プロジェクトを適切に管理するための体制上の工夫及び技術的な課題が発生した場合の支援体制の工夫が明確に示されているか。	各工程に十分な従事者が割り振られている。また、課題が発生した場合の支援体制が表現されており、内容も十分である。(100点)	各工程に十分な従事者が割り振られているが、課題が発生した場合の支援体制に不安がある。(75点)	工程の一部に十分な従事者が割り振られていない。課題が発生した場合の支援体制に不安がある。(50点)	ほとんどの工程に対し、十分な従事者が割り振られていない。課題が発生した場合の支援体制が不足している。(25点)	全ての工程に対し、十分な従事者が割り振られていない。課題が発生した場合の支援体制が不足があり、実施体制として不十分である。(0点)
	(3) 管理者の能力・実績	管理者は、本業務と同等規模のシステム開発の管理者又はそれに準ずる役割の経験があるか。広い視野で全体最適を考え、本市やシステム開発事業者等の意思統一を図る能力を期待できるか。コミュニケーション能力は十分か。	高い水準で満たしている。(100点)	やや高い水準で満たしている。(75点)	標準であり、特筆すべき点はない。(50点)	満たしていない部分がある。(25点)	全く満たしていない。(0点)
	(4) 主な従事者の能力・実績	機能仕様を総括する従事者は、財務会計システムの開発における要件分析及び設計リーダー相当の経験はあるか。システム全体の機能仕様を本市と調整し、受託者のチーム内に浸透させる能力を期待できるか。実現方式を総括する主な従事者は、パッケージを構成する各種技術に精通しているか。システム全体を俯瞰して最適な実装方式を設計する能力を期待できるか。	高い水準で満たしている。(100点)	やや高い水準で満たしている。(75点)	標準であり、特筆すべき点はない。(50点)	満たしていない部分がある。(25点)	全く満たしていない。(0点)

評価項目		評価の着眼点	評価				
			A	B	C	D	E
	(5) 管理方法	進捗管理、リスク管理、問題管理、ToDo管理、成果物の品質管理、変更管理の実施方法、本市とのコミュニケーション計画が、提案者の考えとともに具体的かつ明確に示されているか。 追加提案（提案者が「その他プロジェクト管理に必要な実施項目」と考えること）を含めた提案内容が、大規模プロジェクトであることを踏まえたものであり、プロジェクトのQCD（品質、コスト、納期）を満たせることを、理由や根拠とともに明確に説明できているか。	進捗管理、リスク管理、問題管理、ToDo管理、成果物の品質管理、変更管理の実施方法、本市とのコミュニケーション計画などの管理方法について具体的かつ明確に示され、優れた内容となっている。また、プロジェクトのQCDを満たせることが理由や根拠とともに明確に説明出来ており、優れた内容となっている。（100点）	進捗管理、リスク管理、問題管理、ToDo管理、成果物の品質管理、変更管理の実施方法、本市とのコミュニケーション計画などの管理方法について具体的かつ明確に示されている。また、プロジェクトのQCDを満たせることが理由や根拠とともに明確に説明出来ている。（75点）	妥当な管理方法が示されている。また、プロジェクトのQCDを満たせることが理由や根拠とともに説明出来ている。（50点）	やや具体性や実現性の欠く管理方法となっている。また、プロジェクトのQCDを満たせる理由や根拠について、やや具体性や実現性を欠く内容となっている。（25点）	管理方法や、プロジェクトのQCDを満たせる理由や根拠について、説明されていない。あるいは、記載された内容が実現性に欠けている。（0点）
システム化要件の実現	(1) 機能要件 必須項目	必須項目の機能を全て実現できるか。 なお、必須項目に実現不可の項目が一つでもある場合、失格とする。	すべて〇である。（100点）				×が1つでもある。（=失格）
	(2) 機能要件 任意項目（重要）	任意項目（重要）の機能をどこまで実現できるか。 実現できる割合に応じて評価。	×の個数が0である。（200点）	×の個数が10%未満である。（150点）	×の個数が25%未満である。（100点）	×の個数が50%未満である。（50点）	×の個数が50%以上である。（25点）
	(3) 機能要件 任意項目	任意項目の機能をどこまで実現できるか。 実現できる割合に応じて評価。	×の個数が0である。（100点）	×の個数が10%未満である。（75点）	×の個数が25%未満である。（50点）	×の個数が50%未満である。（25点）	×の個数が50%以上である。（10点）
	(4) 他システム連携	連携先システムの業務所管課との調整など、本市において対応が必要な内容も加味された調整方法が示され、かつ、本市の負担軽減を図ることが考慮されているか。 本業務システムのクラウド環境への構築に向けて、オンプレミス環境に構築された既存システムとの連携や異なるクラウド環境（SaaS等）との連携に対応することが示されているか。	①本市において対応が必要な内容も加味された調整方法が示されている ②本市の負担軽減を図ることが考慮された優れた内容となっている。 ③本業務システムのクラウド環境への構築に向けて、オンプレミス環境に構築された既存システムとの連携や異なるクラウド環境（SaaS等）との連携に対応することが示されている。（100点）	A評価と比較し、①から③の項目のいずれか1つについて不安がある。（75点）	A評価と比較し、①から③の項目のいずれか1つについて満たしていない。（50点）	A評価と比較し、①から③の項目のいずれか2つについて満たしていない。（25点）	A評価と比較し、①から③の項目の全てについて満たしていない。（0点）
	(5) 先端技術（AI・RPA等）の活用	実施方法が、先行事例等の説明を踏まえた実現性があるものであり、効果的であることが理由・根拠とともに示されているか。 提案の質、量により評価。	提案数が複数であり、そのうち2つ以上が、実施方法が実現性があるものであり、効果的であることが理由・根拠とともに示されている。（100点）	提案数が複数であり、そのうち1つが、実施方法が実現性があるものであり、効果的であることが理由・根拠とともに示されている。（75点）	提案数が1つであり、実施方法が実現性があるものであり、効果的であることが理由・根拠とともに示されている。（50点）	示された実施方法がいずれも実現性に欠けるものである。また、効果的である理由・根拠の説得力に欠けている。（25点）	先端技術（AI・RPA等）の活用に関する提案がない。（0点）

評価項目		評価の着眼点	評価				
			A	B	C	D	E
	(6) 業務効率化に資する機能の実装	実現性があり、効果的である機能であることが理由・根拠とともに示されているか。提案の質、量により評価。	提案数が複数であり、そのうち2つ以上が、実現性があり、効果的な優れた機能であることが理由・根拠とともに示されている。(100点)	提案数が複数であり、そのうち1つが、実現性があり、効果的な優れた機能であることが理由・根拠とともに示されている。(75点)	提案数が1つであり、実現性があり、効果的な機能であることが理由・根拠とともに示されている。(50点)	示された機能がいずれも実現性に欠けるものである。また、効果的である理由・根拠の説得力に欠けている。(25点)	提案がない。(0点)
	(7) 業務のアウトソーシング可能な機能の実装	「利用者による表示画面(業務・機能)の制限、検索、出力、印刷の制限」や「操作ログの取得」など、アウトソーシングの実施にあたり必須となるセキュリティ関連の機能が提案されており、実現性、効果とも優れた内容となっている。その他のアウトソーシングを行うにあたり、効果が期待できる機能の優れた提案があり、実現性、効果とも十分なものであるか。	アウトソーシングの実施にあたり必須となるセキュリティ関連の機能が提案されており、実現性、効果とも優れた内容となっている。その他のアウトソーシングを行うにあたり、効果が期待できる機能の優れた提案があり、実現性、効果とも十分なものである。(100点)	アウトソーシングの実施にあたり必須となるセキュリティ関連の機能が提案されており、実現性、効果とも十分なものである。その他のアウトソーシングを行うにあたり、効果が期待できる機能の提案があり、実現性、効果とも十分なものである。(75点)	アウトソーシングの実施にあたり必須となるセキュリティ関連の機能がやや実現性に欠けるものである。その他アウトソーシングを行うにあたって提案された機能がやや実現性に欠けるものである。(50点)	アウトソーシングの実施にあたり必須となるセキュリティ関連の機能が実現性に欠けるものである。その他アウトソーシングを行うにあたって提案された機能が実現性に欠けるものである。(25点)	アウトソーシングの実施にあたり必須となるセキュリティ関連の機能が提案されていない。その他のアウトソーシングを行うにあたり、効果が期待できる機能の提案がない。(0点)
業務要件の実現	(1) 開発効率の確保	都道府県または市区町村に導入実績のある財務会計のパッケージソフトの提供実績がいくつあるか。	都道府県及び政令指定都市での開発・提供実績が2以上ある。(100点)	都道府県及び政令指定都市での開発・提供実績が1以上ある。(75点)	中核市以上の開発・提供実績が1以上ある。(50点)	都道府県・政令指定都市・中核市以外の市区町村での開発・提供実績が1以上ある。(25点)	都道府県・政令指定都市・中核市・市区町村での開発・提供実績がない。(0点)
	(2) 本市が確認しやすい要件分析や設計の進め方	専門知識を持たない本市担当者と一緒に認識を合わせるための考慮点や対応方法が具体的に示されているか。	専門知識を持たない本市担当者と一緒に認識を合わせるための考慮点や対応方法が具体的に示されている。(100点)	専門知識を持たない本市担当者と一緒に認識を合わせるための考慮点や対応方法が具体的に示されている。(75点)	標準な内容であり、特筆すべき点はない。(50点)	専門知識を持たない本市担当者と一緒に認識を合わせるための考慮点や対応方法が示されているが、具体的ではない。(25点)	専門知識を持たない本市担当者と一緒に認識を合わせるための考慮点や対応方法が示されていない。(0点)
	(3) 本市の負担を考慮した構築・テストの進め方	本市の負担軽減となる工夫等が、提案者の考えとともに具体的に示されているか。	本市の負担軽減となる優れた工夫等が、提案者の考えとともに具体的に示されている。(100点)	本市の負担軽減となる工夫等が、提案者の考えとともに具体的に示されている。(75点)	本市の負担軽減となる工夫等が、提案者の考えとともに示されている。(50点)	本市の負担軽減となる工夫等が、提案者の考えとともに示されているが、やや具体性や実現性に欠ける内容となっている。(25点)	本市の負担軽減となる工夫等が、提案者の考えとともに示されていない。(0点)
	(4) 運用設計	安定運用を図る運用保守内容を提案しているか、また、運用コストの低減に資する構築上の工夫が示されているか。全国的な制度変更や利用するソフトウェアのバージョンアップ対応など、システム改修を伴う対応について、工数低減を実現するための優れた工夫が提案されているか。	安定運用を図る運用保守内容を提案しており、また、運用コストの低減に資する構築上の優れた工夫が示されている。システム改修を伴う対応について、工数低減を実現するための優れた工夫が提案されている。(300点)	安定運用を図る運用保守内容を提案しており、また、運用コストの低減に資する構築上のやや優れた工夫が示されている。システム改修を伴う対応について、工数低減を実現するためのやや優れた工夫が提案されている。(225点)	安定運用を図る運用保守内容を提案しており、また、運用コストの低減に資する構築上の工夫が示されている。システム改修を伴う対応について、工数低減を実現するための工夫が提案されている。(150点)	安定運用を図る運用保守内容が提案されており、また、運用コストの低減に資する構築上の工夫が示されているが、やや具体性や実現性に欠ける内容となっている。システム改修を伴う対応について、工数低減を実現するための工夫が提案されているが、やや具体性や実現性に欠ける内容となっている。(75点)	安定運用を図る運用保守内容を提案されていない。また、運用コストの低減に資する構築上の工夫が示されていない。システム改修を伴う対応について、工数低減を実現するための工夫が提案されていない。(0点)
	(5) データ移行	移行に伴うリスクを想定した上で、適切な対策を講じているか。移行対象となるデータの収集やデータクレンジングの進め方など、移行データを整備するための方法が、具体的かつ明確に示されているか。	移行に伴うリスクを想定した上で、本市職員の負担軽減を含んだ適切な対策を講じている。移行対象となるデータの収集やデータクレンジングの進め方など、移行データを整備するための方法が、具体的かつ明確に示されている。(100点)		移行に伴うリスクを想定した上で、適切な対策を講じている。移行対象となるデータの収集やデータクレンジングの進め方など、移行データを整備するための方法が、具体的かつ明確に示されている。(50点)		移行に伴うリスクを想定した上で、適切な対策を講じていない。移行対象となるデータの収集やデータクレンジングの進め方など、移行データを整備するための方法が示されていない。(0点)

評価項目		評価の着眼点	評価				
			A	B	C	D	E
デジタル化推進への対応	(1) 対応に向けた考え	国の「デジタル・ガバメント実行計画」や業務説明資料の記載に対する理解及び対応が、提案者の考えとともに明確に示されているか。 本業務の契約の中で、情勢の変化に柔軟に対応する意向が示されているか。	国の「デジタル・ガバメント実行計画」や業務説明資料の記載に対する理解及び対応が、提案者の考えとともに明確に示されている。 本業務の契約の中で、情勢の変化に柔軟に対応する意向が示されている。(150点)		国の「デジタル・ガバメント実行計画」や業務説明資料の記載に対する理解及び対応が、提案者の考えとともに明確に示されている。(75点)		国の「デジタル・ガバメント実行計画」や業務説明資料の記載に対する理解及び対応が、提案者の考えとともに示されていない。 本業務の契約の中で、情勢の変化に柔軟に対応する意向が示されていない。(0点)
	(2) APIへの対応	APIの導入を提案しているか。 電子契約・電子請求など財務会計と関連する具体的な業務とのAPI連携を提案しているか。 民間での事例も含め、先行事例等の説明を踏まえた実現性があるものであり、効果的であることが理由・根拠とともに示されているか。	APIの導入（他システムが利用可能なAPIの整備を含む）を提案している。電子契約・電子請求など財務会計と関連する具体的な業務とのAPI連携を提案している。 民間での事例も含め、先行事例等の説明を踏まえた実現性があるものであり、効果的であることが理由・根拠とともに示されている。(150点)	APIの導入（他システムが利用可能なAPIの整備を含む）を提案している。電子契約・電子請求など財務会計と関連する具体的な業務とのAPI連携を提案している。(100点)	APIの導入（他システムのAPIを利用する仕組みのみ）を提案している。電子契約・電子請求など財務会計と関連する具体的な業務とのAPI連携を提案している。 民間での事例も含め、先行事例等の説明を踏まえた実現性があるものであり、効果的であることが理由・根拠とともに示されている。(50点)	APIの導入（他システムのAPIを利用する仕組みのみ）を提案している。電子契約・電子請求など財務会計と関連する具体的な業務とのAPI連携を提案している。(25点)	APIの導入を提案していない。 新たな財務会計と関連する具体的な業務とのAPI連携を提案していない。 民間での事例も含め、先行事例等の説明を踏まえた実現性があるものであり、効果的であることが理由・根拠とともに示されていない。(0点)